

News Release

2015 年 6 月 22 日

タブレット端末の公衆利用に関するトライアルの実施について ～特殊簡易公衆電話のような手軽なコミュニケーションツールで「地方創生」に貢献～

- NTT 東日本は、ICT 利活用の更なる取り組みの推進に向け、特殊簡易公衆電話(ピンク電話)と同様、公共の場所や飲食店等において、誰でも手軽にインターネットがご利用いただけるサービス(「公衆かんたんタブレット」^{※1}(仮称))の実現を目指した技術検証等のトライアルを実施します。
- 当社は、本トライアルにおいて、新潟県長岡市と山形県山形市の一部地域において、約 3 ヶ月間、当社が提供する NFC^{※2}による個人認証(ログイン)機能を備えたタブレット端末をご提供し、セキュアかつ簡易に利用できる認証機能等に関する技術検証を行います。
- 当社は、本トライアルの結果を元に、「公衆かんたんタブレット」^{※1}(仮称)のサービス化等、更なる ICT 利活用の促進や「地方創生」を目指した取り組みを進めていきます。

※1 NFC機能付タブレット、NFC対応ICカードまたはNFC対応歩数計、わかりやすい画面デザインを採用したポータルおよび NFC による個人認証機能を組み合わせた、当社が提供検討中のサービスの仮称

※2 Near field radio communication の略称。通信距離 10cm 程度の近距離無線通信技術。機器を近づける事で通信を行うため、「かざす」動作をきっかけとして、非接触 IC カードや機器のデータ通信を簡単に行う国際標準規格。

1. 背景

NTT 東日本は、昨年度までに、シニアの方々を対象としたタブレット教室や体験型キャラバンイベント「昭和レトロなふれあい広場」の開催等を通じて、地域の方々と直接ふれあい、インターネットの楽しさや便利さを知って頂き、ICT 利活用を促進する取り組みを進めてまいりました。これらの取り組みを通じて、のべ 5 万人以上のお客さまにインターネットを体験いただきました。

その一方で、会員サイト等へのログイン時に必要な ID・パスワードの管理や入力の煩雑さ、タブレット端末の表示画面のわかりにくさ等、インターネットに馴染みのない方々がインターネットをご利用する際には、障壁が少なからず存在することがわかりました。

そうした障壁を払拭するため、当社はこの度、商店街やカフェ、公民館といった日頃地域の方々が多く集まる場所に、NFC 対応 IC カード等をかざすことで個人認証(ログイン)が可能なタブレット端末を、インターネットに馴染みのない方々の生活動線上に設置し、セキュアかつ簡易に利用できる認証機能に関する技術検証、シンプルでわかりやすい画面デザインに関する評価・検証および地方創生への効果検証等のトライアルを行います。

2. 概要

(1) NFC に対応したカード等を用いた個人認証(ログイン)機能^{※3}の実用性に関する評価・検証

ID やパスワードがそれぞれ異なる各サービスサイトに自動ログインできる「簡単ログイン機能」を提供します。この機能により、トライアル参加者に NFC に対応したカード等を配布し、予めインターネット上の各種会員向けサービスの ID やパスワードを含む情報を登録しておくことで、各サービスサイトからの申し込みなど、個人で行う必要のある手続きも、かんたん・セキュアに実現します。

NFC に対応したカード等に連動した端末ロックやイメージマトリクス認証(予め設定しておいた画像に対する座標の値(英数字)を入力する認証方式)の実用性を評価・検証します。

※3 株式会社アイズ「iZE Smart Desktop」技術を採用

<NFC 対応 IC カード等による認証のイメージ>



カードをかざして認証^{※4}

ポータル画面の表示

※4 実証実験を行う際は、カードによる認証後、イメージマトリクス認証画面を介してポータル画面を表示します。

(2) シンプルでわかりやすい画面デザインに関する評価・検証

利用者が使う機能だけを表示するシンプルなホーム画面と、直感的にも視覚的にもその機能が判別できるアイコンを有したデザインについて、ユーザーインターフェースの利便性を評価・検証します。

<画面デザインのイメージ>



なお、本トライアルにおいて、当社は、個人認証機能により一時的に専用端末化したタブレット端末のポータル画面上に下記のお役立ちコンテンツをご用意します。利用者は、店内でゆったりと寛ぎながら「雑誌読み放題サービス」※5等を試用することができます。

＜ご試用可能な主なお役立ちコンテンツの内容＞

- | | |
|--------------|---------------------------|
| ① 自治体からのお知らせ | ⑦ TV 番組表 |
| ② 商店街からのお知らせ | ⑧ 雑誌読み放題 |
| ③ 交通機関運行状況 | ⑨ 写真アルバム |
| ④ 地図 | ⑩ メール |
| ⑤ ニュース | ⑪ 検索 |
| ⑥ 天気予報 | ⑫ 個人のご要望に基づいたコンテンツ(旅行予約等) |

※5 株式会社オプティム「タブレット使い放題(タブホ)」を採用

3. 実施期間・場所

現時点で実施が決定している地域は以下の2箇所です。

(1) 2015年6月24日(水)～2015年9月30日(水)

タニタカフェ(新潟県長岡市大手通 2-2-6 ながおか市民センター1階)

(2) 2015年7月14日(火)～2015年9月30日(水)

七日町商店街の7店舗を予定(山形県山形市七日町)

4. 今後の展開

当社は、認証機能の有効性や商用時の課題等、本トライアルで得られた結果をもとに、戦後の固定電話の普及過程において自宅以外の場所で電話を利用できる仕組みとして広がった特殊簡易公衆電話(ピンク電話)に倣い、「公衆かんたんタブレット」(仮称)のサービス化を目指すとともに、更なるICT利活用の促進や、にぎわいのあふれるまちづくりを推進している地域の皆さまに対する、ICTによる「地方創生」を目指した取り組みを進めてまいります。

【別紙】「公衆かんたんタブレット」(仮称)の特長について

- 「公衆かんたんタブレット」(仮称)は、これまでの取り組みから見てきた「インターネットに馴染みのない方がインターネットを利用する際に感じる障壁」を払拭する特長を有したものになっており、公衆電話のように誰でも迷わず使うことができるサービスを目指しています。

- インターネットに馴染みのないお客さまがインターネットを利用しない主な理由



- デバイスの操作がわからない (アイコンの多い画面が理解できず)
- ログインIDやパスワードが記憶・入力できない (デバイスのソフトウェアキーボードの操作が難しい)



- 「公衆かんたんタブレット」(仮称)の特長



- 誰でもわかりやすいシンプルなホーム画面デザインと明瞭なアイコン
- ID/パスワードが異なる複数の会員サイトへの「かんたんログイン機能」



- 「公衆かんたんタブレット」(仮称)にNFC対応のICカード等をかざすことで、利用者ごとの専用ポータルサイトを表示し専用端末化するとともに、IDやパスワードがそれぞれ異なる各サービスサイトに自動ログインできるようにすることで、お客さまの操作性を向上させるサービスです。
- お客さまの操作や閲覧の履歴も自動削除されるため、安全に端末を共有化することができます。

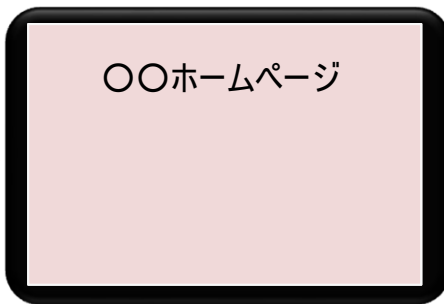
■「かんたんログイン機能」の特長

- ICカード等による利用者の識別 (利便性の向上)
- お客さまのサービスへのログイン支援 (煩雑さの排除)
- 一時的な個人端末化によるOS操作および画面の制御 (操作性の向上)
- お客さまの操作や閲覧の履歴を削除するセキュアブラウザ機能 (安全性向上/端末共有化の実現)

* 株式会社アイズ「iZE Smart Desktop」技術を活用

NFC対応カード等をタッチする事で、利用者ごとのポータル画面にログイン

ログインの必要がないページはそのまま表示



ログインが必要な会員サイト

会員サイトへオートログイン (自動でID/PWを投入)

会員サイトのメニューが利用可能に



* NFC規格はFelica、MIFAREに対応